

2021年3月21日(日)実施

2021 ファン・サポーターとの意見交換会

①石川代表冒頭の挨拶

石川：今日は、お忙しい中 2021 ファン・サポーターとの意見交換会に集まりいただきありがとうございます。

オンラインでの開催となりましたが、本来であれば参加できなかった方も参加ができるので、今回の開催は良いチャレンジになったのかなと考えています。

2020年シーズン振り返ってのお話と、2021シーズン我々がどのように取り組ん

でいくか、少し中期的な計画も話に入ってきますが、それも踏まえて私たちの考えをお聞きいただき、逆に皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお伺いできればと思っていますので、よろしくお願いします。

2021年3月21日(日)
スポーツジャーナル つくば 14時~16時

2021ファン・サポーターとの 意見交換会



「すべての人が、生涯、素晴らしい環境で
スポーツを楽しめるようにする」

世界一幸せなクラブを作りたい。



②クラブスタッフ自己紹介

石川：それでは、本日の参加スタッフ紹介をします。私、クラブの理事長の石川です。改めまして、よろしくお願いします。

続いて、試合でオンライン参加の強化部の副島です、今聞こえますか。

副島：はい、大丈夫です。強化部長の副島です。今シーズンも男子女子の強化部長として、よろしくお願いいたします。

石川：続いてホームタウン営業部から順に紹介します。まずは関澤です。

関澤：ホームタウン営業部の関澤と申します。ホームゲームで会えるのを楽しみにしています。はじめての方、よろしくお願いいたします。

石川：続いて三嶋お願いします。

三嶋：ホームタウン営業部の三嶋圭太と申します。男子の運営担当をしています。まだお会いしたことのない、初めての方もいらっしゃると思うのでよろしくお願いいたします。

石川：続いて松崎お願いします。

松崎：ホームタウン営業部の松崎と申します。ホームゲームでは主に観客席の入場口を担当しておりますので、皆様と顔を合わせることも多いと思います。よろしくお願いいたします。

参加者自己紹介

【出席者一覧】

・つくばフットボールクラブ理事長
石川慎之助

・強化部
副島秀治

・ホームタウン営業部
関澤英勝、三嶋圭太、松崎茂樹、服部圭悟

ます。

石川：続いて新入社員の服部です。

服部：今年から入社しました服部圭悟と申します。未熟な部分もありますが、より良いホームゲームを運営できるように努めてまいります。よろしくお願いいたします。

石川：それでは以上のメンバーで進めます。

③2020 シーズン新型コロナウイルスの影響

石川：最初に2020年度の報告です。クラブの運営状況と観客動員の実績などを報告します。コロナの影響で男子の試合が観客動員できませんでした。リーグ戦後半の女子の試合は入場人数制限下で、観客動員することができました。2020シーズンからオンラインで試合映像の配信をしていますので、そういった取り組みについても併せて紹介します。

それでは、ホームタウン営業部の関澤部長、よろしくお願いいたします。

関澤：改めましてこんにちは。ホームタウン営業部の関澤です。クラブの運営状況、観客動員の実績ということでスライドをご覧ください。

「2020シーズンの新型コロナウイルスの影響」新型コロナウイルスの影響について。(中略、スライドの説明)

2020クラブ運営状況/観客動員実績

2020シーズン新型コロナウイルスの影響

- ・売上4000万円減少
2019年度売上の25%に相当
- ・試合の延期、試合数の半減
無観客試合での開催
- ・ウイルス感染対策の実施
観客、物販による収入なし
試合回数18試合→9試合に減少
ウイルス感染対策ガイドラインに則った運営
(選手導線と分離、個人情報取得)
- ・選手、チームへの影響
チームでのトレーニングができない
選手の雇用への影響、出勤頻度の減少
観戦対策の為、物品購入費用の増加
(消毒、個人用水分補給ボトル、体温計)

約二ヶ月間、全ての活動が停止。

④チームだけではなく所属選手への影響も

関澤：(中略、スライドの説明)

1つ大きな事例としては、新聞掲載をきっかけにつくばFCのジュニアユースの保護者様からお声掛けいただき、選手の働く場が見つかったというものです。

報道のおかげでつくばFC選手のサッカーができる環境が整ったという事例でした。

2020クラブ運営状況/観客動員実績

チームだけでなく所属選手への影響も

・茨城新聞掲載記事

・「日曜報道THE PRIME」で放映

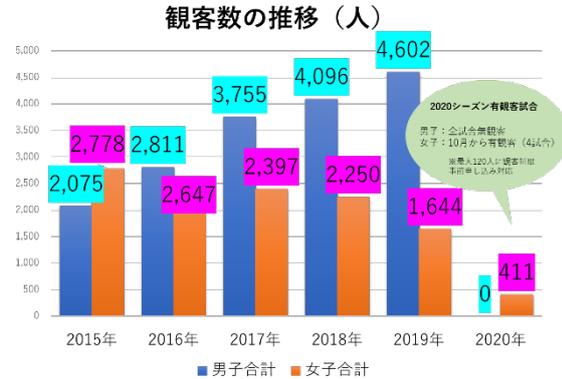
⑤観客数の推移

(中略、スライドの説明)

2019シーズンの女子の観客数の説明：毎年入れ替え戦で集客が見込める試合があり、2019シーズンはそれがなかったということで前年と比べて減少している状況があります。

2020シーズンは無観客試合あるいは有観客試合でも最大120人に制限いたしました。事前申し込みをしていただいた方のみが観戦できるということになり、4試合で411人という結果でした。実際に観客として観戦される方は、事前申し込みよりも若干減少していました。

2020クラブ運営状況/観客動員実績



⑥YouTube 配信結果

一方でファン・サポーターの皆様はよくお使いかと思いますが、2020シーズンはYouTubeでのライブ配信にチャレンジしました。配信により今まで試合会場に来られなかった方々も、観戦できる環境整備ができました。内容に関しては、もっと質を高め、コンテンツを充実させる努力をしていきます。

YouTube 配信結果 シーズン終了1ヶ月
2020/10/26



⑦2020年度広告収入目標達成状況及び2021年度の目標

広告収入の報告です。2019年度は30,000,000円の目標に対して35,000,000円で116%の達成でした。

一方2020シーズンは5,000,000円の増額目標を目指し、35,000,000円を目標にしましたが実際は、32,000,000円ということ達成率91.4%、目標未達でした。

2021シーズン目標を42,000,000円としております。こちらは女子がなでしこリーグ2部に参入しているということで遠征費や登録費等が増額したのでそれに合わせて目標も高く設定しています。

(中略、スライドの説明) コロナ禍でスポンサー営業は難しいと予想を立てていましたが、地域の企業様から本当に暖かい支援を受けています。一部の企業様には、増額していただき、更なるご支援、ご協力をいただいています。

2020クラブ運営状況/観客動員実績

スポンサー企業や地域の声

・コロナ禍が理由でスポンサーを辞退した企業はなかった。むしろクラブの経営状況を案じて新規で応援してくれたり、増額に応じてくれた企業さえありました。つくばFCのファンからも個人的な応援の申し出やマスク、消毒液等の支援もありました。



今年は営業活動を通じ、地域の温かさをより感じた1年となりました。更にクラブが地域になくてはならない存在になるべきだという気持ちを新たにしました。

⑧つくばの生活関連サービス応援プロジェクト

(中略、スライドの説明) その中でつくばFC分は、約7,600,000円で全体の収入のうち約10%とのこと。つくば市役所の担当者に確認させていただいたのですが、圧倒的な割合でつくばFCが支援されていましたとお聞きました。

2020クラブ運営状況/観客動員実績

つくばの生活関連サービス 応援プロジェクト

つくば市が2割上乗せした「応援チケット」を支援者に送るクラウドファンディング

- ▶つくばFC
・7,654,376円
- ▶つくば市全体
・74,567,500円



この取り組み自体にも感謝しておりますし、またクラウドファンディングを通じ、多くの方々との結びつきを感じました。感謝の念に絶えません。本当にありがとうございました。

スポーツの持つ力、クラブの価値を再発見と言うことでこのポスターをどなたでもダウンロードできるようにしています。

2020クラブ運営状況/観客動員実績

スポーツが持つ力、クラブの価値を再発見！



コロナに負けない！地域を元気に！

コロナに負けない、地域を元気にする力がクラブにあると思ひ、現在営業活動に注力しているところです。

⑨2021 男女ホームゲーム運営について

2021 シーズンホームゲーム運営についてご案内します。ホームゲーム会場ですがジョイフル本田つくば FC は、「セキショウチャレンジスタジアム」で実施します。スケジュールの中には一部未定なものもございます。決まり次第ホームページ上に掲載します。

2021男女ホームゲーム運営について

	ジョイフル本田つくばFC	つくばFCレディース
ホームゲーム試合会場	主にセキショウチャレンジスタジアム（一部未定）	ひたちなか市総合運動公園陸上競技場
有観客試合の有無	有観客試合／各種制限あり	
観客数最大	120人から150人 (セキショウの場合)	2,500人
お客様による事前申し込み	あり	なし
ホームゲームライブ配信	配信予定	

つくば FC レディースは、「ひたちなか市総合運動公園陸上競技場」になっております。この理由に関しましては、昨年もお報告しましたが、セキショウチャレンジスタジアムが JFA 公認のロングパイル人工芝では現在ないため、工事終了後の来年 4 月までリーグの基準に満たないということです。遠い中ですが、こちらもぜひ足を運んで応援してただけましたら幸いです。

次に有観客試合の有無です。ジョイフル本田つくば FC、つくば FC レディース共に有観客試合を実施いたしますが、ご存知の通り各種の制限がございます。入場するに当たっては個人情報をご提出していただくため、皆さんにはご不便をおかけしますが、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。最大の観客数についてですがセキショウチャレンジスタジアムでは、120 人から 150 人を想定しています。

一方で、ひたちなか市総合運動公園陸上競技場は、メインスタンド(固定席)最大約 3000 席ですので、メインスタンド 50%制限で 1500 人。メインスタンドが混雑した場合に、バックスタンド芝生席(スタジアム発表の目安観戦可能数、約 1 万人のところ)に 1000 人をご案内し、合計 2500 人を観戦可能人数として設定しています。

男子に関しては事前申込制です。女子に関しては当日申込で観戦することが可能です。

⑩2021 男女ホームゲーム運営体制

(中略、スライドの説明) 引き続きホームゲームボランティアの皆様、アカデミーの下部組織、あるいは地域クラブと連携して運営をしていきます。

⑪勝利の歓喜・クラブの魅力为全国へ！

SNS の活用。

現在つくばFCは、SNSの拡散に力を入れて

ております。特にYouTubeでの男女ホームゲームのライブ配信はメインコンテンツだと思っています。具体的にはさらに魅力を多くの人に届けようということで「+800 プロジェクト」を実施しています。

これはYouTubeの登録者数を1500名まで増やす試みです。2020年7月4日時点で187人の登録でした。最近の情報2021年3月4日では、789人まで増えています。それを今年11月に1500人を目指すプロジェクトです。

こちらは、選手にも協力をお願いしています。ここにいらっしゃる皆様もこの活動に参加していただいて、登録者数を増やすこと、情報を拡散していただくことにご協力いただければ幸いです。

具体的な集客アップのイメージは、現在つくばFCで活用しているFacebook、Twitter、Instagramのフォロワー数と、いいね数を増やし続けることによってYouTubeやホームページへの流入を増やしていくようなイメージを持っています。

例えばFacebookで藤井選手のことをハイライトしたものを掲載します。そこをクリックすると藤井選手のページ(つくばFC公式ホームページ)に移行し、そこから試合配信のURLに移行する、というようなイメージです。

最終的にはYouTubeの登録者数を増やすということになりますが、実際そこにたどり着

2021男女ホームゲーム運営体制

・ジョイフル本田つくばFC
理事: 副島秀治
運営責任者: 三嶋圭太
運営員補佐: 松崎茂樹

・つくばFCレディース
実行委員: 関澤英勝
運営責任者: 飯塚真悟
運営員補佐: 松崎茂樹

2021男女ホームゲーム運営について

魅力をさらに多くの方々へ届けよう！
への集客 +800プロジェクト



2021男女ホームゲーム運営について



くまでの Facebook、Twitter、Instagram をさらに強化していくこともこのクラブ内でのミッションです。

⑫2021 グッズ情報

最後にグッズの情報です。

2018 年からの売り上げの推移と 2021 年の物販の目標はご覧の数字の通りです。2020 年の実績売り上げ約 1,000,000 円でした。ホームゲームの実施が少なく販売機会が減少してしまい売り上げの減少につながりました。しかしながらオンラインショップでは前年比 360%達成ということで今までにないような販売の実績が残っています。こちらも皆様のおかげです。ありがとうございます。

(中略、スライド説明)

以上クラブの運営状況とホームゲームの運営についての報告・説明でした。ありがとうございました。

2021グッズ情報

売上の推移と2021年物販目標

	2018年	2019年	2020年	2021年 (予算)
物販売上	150万	150万	100万	120万

【2020年の実績】

- ・売上約100万円
- ・HG実施が少なく販売機会・売上が減少
- ・オンラインショップは前年比360パーセントを達成

【2021目標】

- ・オンラインショップでの販売数の増加・HG会場での売上の回復
- ・スポンサー企業様とのコラボグッズ販売の検討
- ・低価格新商品や受注商品を揃え、来季の新ユニフォーム販売に向け準備

副島：2021シーズントップチーム強化について説明します。

①強化部の紹介

男女トップチームの強化部長を兼任する副島秀治です。強化部の担当スタッフとしては、昨年から引き続き飯塚真悟と2人で担っています。

強化部の紹介

☆男女トップチームを兼任

【強化部長】
副島 秀治

【強化部スタッフ】
飯塚 真悟



②トップチームの目標

全体の目標として、「子どもたちが憧れる存在になる」、観ている人が応援したくなるサッカーをして、「応援してもらえる選手・チームになる」ということです。そして、「上位カテゴリーへの昇格」を常に目指しております。

その中で「より魅力あるチームへと成長していきたい」と考えています。

トップチームの目標

- 子どもたちが憧れる存在になること
- 観ている人が応援したくなるサッカーをすること
応援してもらえる選手・チームに！
- 上位カテゴリーへの昇格

魅力あるチームへと成長する



③強化部の役割

長期的な視点に立って継続的なチームの強化を図っていくことが強化部の役割です。短期的な目標は、男子はJFL昇格・定着すること。女子は、なでしこ1部リーグへの昇格と、定着していくこと。中長期的目標は男女ともにJFLとなでしこ1部を経て、その先にあるJリーグや、今年の9月から開幕するWEリーグという、最上位リーグを目指していきたいと思っています。

強化部の役割

☆長期的な視点に立ち、継続的なチームの強化を図る

【短期的】

- ・ JFL・なでしこ1部 昇格から定着

【中・長期的】

- ・ JFL上位進出・Jリーグ参入
- ・ なでしこ1部上位進出・WEリーグ参入



具体的には、監督とチームの方向性を決めていく、チームスタッフが活動していく中で、それを下から支えてサポートしチームがより目指すべき方向へ進んでいけるように、そこを手助けする役割です。

右の図は、そういうイメージを監督・選手・チームスタッフが1つのチームを作る中でそこを強化部が下支えするというようなイメージの図になっています。

④チームの方向性

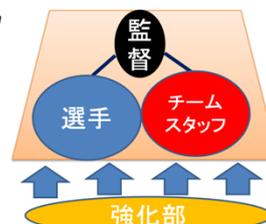
クラブの理念は、「すべての人が生涯素晴らしい環境でスポーツを楽しめるようにする」「世界一幸せなクラブを作りたい」です。つくばFCは、もともと育成年代からスタートしました。育成から積み上げられて目標とするトップチームが男女共にできましたので、育成の選手たちがまず目指す場所として「夢の舞台を子どもたちに」という目標がここにあります。トップチームは、子どもたちがしっかりと夢を見て憧れていく存在になっていくということが、大きな僕らの方向性です。

その中でも常に継続していることですが、「育成」と言う観点から、我々トップチームも成長するチームであり、地域の子供たちの憧れとなる存在であり、地域の原動力となっていく必要があります。それを達成することで魅力あるチームへと成長していくことを目指します。「チームも選手も成長していく・育成する」というところがキーワードです。

強化部の役割

☆監督とチームの方向性を決める

☆選手・チームスタッフのサポート



チームの方向性

【クラブの理念】



「すべての人が、生涯、素晴らしい環境でスポーツを楽しめるようにする」

世界一幸せなクラブを作りたい。

- ～芝生のグラウンドを子どもたちに
- ～夢の舞台を子どもたちに
- ～引退のないクラブを私たちに

『育成』

- 成長するチーム
- 地域の子供たちの憧れとなる
- 地域の原動力となる

魅力あるチームへと成長する

TSUKUBA FC

⑤魅力あるチームになるために

当たり前ですが、チームで勝利を目指します。1戦1戦の勝利も含めてリーグ戦の中で勝利と優勝を目指すこと。選手1人1人が勝利のために、何ができるのかを考え、勝利を経験することで、個人が成長しチーム力が高まります。その良い循環を1年通じて実施できるように目指し成長します。その中で、根本的にあるのはまず「勝利を目指す」チームになるということです。どういうサッカーをするかは、監督が決定する部分ですが、常に勝利を目指すというチームを作り上げていくことで、魅力あるチームを作り上げていきたいと考えています。

魅力あるチームになるために

- チームで勝利を目指す
- 勝利を目指す中で個人が成長する
- 個人が成長することでチーム力が高まる

勝利を目指すチームに



⑥2020 シーズンを振り返って

新型コロナウイルスによって活動が制限され、良い成績は収められませんでした。結果は出なかったのですが、男子は関東リーグ1部残留。女子はリーグの再編成もあり、なでしこリーグ2部に参入する結果となりました。

昨シーズンを振り返って...

- ★ 新型コロナウイルスにより、活動が制限された
- ★ 結果は出なかったが...
- ・ジョイフル本田つくばFC → 最下位だったが残留
- ・つくばFCレディース → なでしこリーグ2部参入

実際に上がジョイフルの成績。下がレディースの成績ですが、良い成績とは言えない状況です。これを改善していくのには、当然得点が必要です。もっともっと皆さんにゴールをお届けする機会を増やさなくてはならない。そして同時に、失点も減らさなくてはならない。それをバランスよく高いレベルで行うことができれば必然と勝利が増えます。



8得点 23失点 1勝

7得点 17失点 1勝

得点↑・失点↓



課題としては、1年間通じて継続する難しさが挙げられます。なかなか結果が出ずに、途中で失敗することもあります。しかし、その中でも新しいチャレンジをしなければならないという、課題が自分の中でも選手の中でも出てきました。

⑦2021 スローガン「タフネス」

課題を克服していかないことには、目標達成にたどり着けないということと、2021シーズンは男女ともに「タフネス」というスローガンにしました。メンバー全員で強くたくましく粘り強く目標に向かって戦います。

⑧チームの在り方

観ている人が応援したくなるサッカーをするために、2021シーズンはスタッフを刷新し、監督・コーチ陣全てが変わりました。選手も増員しております。レディースは23名の選手が継続をして10名が新加入。ジョイフルは15名が継続し13名が加入しました。ジョイフルが28名、レディースは33名で2021シーズンを戦います。このうち試合先発が11名とベンチが7名の計18名が試合に登録できます。これだけの人数がいるという事は、試合に出られない選手が出てきますが、そういった環境とスタッフの刷新は、新しい監督からの評価になりますので、競争による切磋琢磨が生まれます。それと同時に、それぞれがライバル関係の中で競争意識を持つだけでなく、助け合って仲間として支えていく気持ちも大切にして欲しいという事を、選手たちにも選手研修会で伝えました。選手・スタッフ含めた全員が、切磋琢磨できるチームになれば必然的に、お互いが成長できると考えています。昨年の結果も踏まえ、スタッフの刷新それから選手の増員により競争してたくましく成長していくチームということを考え強化しました。2021シーズンの選手はホームページで、公開しておりますので、ぜひご確認ください。新しい選手も男女総勢で23名加わっていますので、ぜひチェック願います。

様々な課題

- 1年間を通じて継続する
- 環境によって困難が生じてくる
- ネガティブな感情、疑問が投げかけられる
- 途中で失敗したり、挫折しそうになる
- 新しいアイデア、未知のことを試すことも出てくる

克服し、目標達成へ



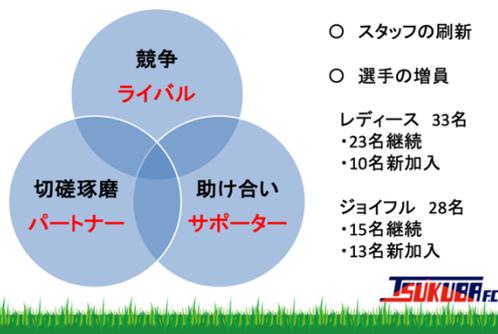
2021 スローガン

タフネス toughness

メンバー全員で

強く、たくましく、粘り強く、目標に向かっていく

チームの在り方



⑨2021 シーズンチームスタッフ

スタッフは、水戸ホーリーホックとの連携協定の中で派遣いただく形で、今シーズン富田大介氏が就任しました。アシスタントコーチはつくばFCのジュニアユースより福本琢也がジュニアユースのコーチを兼任でアシスタントコーチとして新しく TOP チームに加わりました。またストレングスコーチとして週1回宮脇コーチが入ります。こちらもクラブのアカデミー0B で、クラブのアカデミー担当コーチを経て、今回はトップチームに関わります。トレーナーに三村トレーナーが新規スタッフとして入ります。テクニカルスタッフとして、試合分析を小柳コーチが担当します。彼は、つくばFCのジュニアユース 2020 のコーチと兼任しております。新キャプテンとして、深澤裕輝を任命しております。

レディースですが、監督が新しく橋野威監督が就任しました。昨年まで鹿島アントラーズの育成の監督・コーチを歴任しておりました。アシスタントコーチとコンディショニングコーチを兼任で古田敦寛が入りました。新しく GK コーチとして、高橋茂幸が、レディースユースの GK コーチを兼任しながら活動します。レディースは主将が4人体制となり、藤井志保、菊地さやか、肥留川海生、原嶋祐芽の4人が主将として、チームを支えます。

チームスタッフ紹介は以上です。今シーズンもよろしくお願いいたします。

2021

ジョイフル本田つくばFCチームスタッフ

【監督】 富田 大介 ☆
【アシスタントコーチ】 福本 琢也 ☆
【ストレングスコーチ】 宮脇 晴己 ☆
【GKコーチ】 未定
【トレーナー】 三村 駿太 ☆
【テクニカルスタッフ】 小柳 秀人 ☆
【主将】 深澤 裕輝
【副主将】 冷岡 幸輝、竹中 広大



2021

つくばFCレディースチームスタッフ

【監督】 橋野 威 ☆
【アシスタントコーチ】 古田 敦寛 ☆
【GKコーチ】 高橋 茂幸 ☆
【トレーナー】 未定
【主将】
藤井 志保、菊地 さやか、
肥留川 海生、原嶋 祐芽



ここからは、事前にいただいていた質問のご回答いたします。

質問が重複するもの等ございましたので一部質問をまとめた上で、回答します。また、現時点では一部回答を控えなければならないようなものもありましたので、事務局側で質問内容を選び、回答します。予めご了承ください。

【質問】

感染症対策の影響によるファンサービスの制限があるが、どのようなものを実施する予定でしょうか。また、ファン・サポーターに顔と名前を知ってもらう機会をもっと増やすことができないでしょうか。

【回答】

コロナ禍で従前の通りのハイタッチ等のファンサービスは実施できません。しかし、今年は選手にフォーカスした施策を検討しています。具体的には選手カードのプレゼントやWeb・SNSを活用した選手からのメッセージ配信を実施予定です。また、サポーターから選手にメッセージを届けやすい環境作りにも取り組んでいきます。その他、各種フォトスポットを準備し、サポーターの皆さまにも情報発信していただきやすい環境を作りたいと考えています。

【質問】

地域への知名度向上と集客強化のための具体的な施策について、集客が伸びない原因と対策、今年の具体的な施策などをご説明ください。

【回答】

つくばFCレディースについて

集客については2015年シーズンと比べ総観客数で4割減少しているので、課題を感じています。まず、ホームゲームの試合そのものにフォーカスした広報が多かったと認識していますので、新たに選手にフォーカスした取り組みを行っていく予定です。男子は育成年代（小学校から大学等まで）から選手として注目されていることが多いのですが、女子は選手PRに繋がるような過去の積み重ねが、少ないと考えています。時間はかかりますが、女子選手の認知活動を強化してみてもどうか、と考えています。今シーズンは、その取り組みへのチャレンジを開始します。

女子のホームゲームは対戦相手の都合もあり、ナイターの提案ができません。お客様にとって都合の良い時間に試合を実施できていない状況も集客の低下の一因と考えています。

今年はひたちなか市での開催となり、さらに集客の難易度はあがると考えています。つくばFCがより多くの方々に認知され、愛されるクラブを目指して、今年一年間、ひたちなか市で頑張ります。

最後に成績です。2015年にチャレンジリーグ参入以来低調な成績が続いています。チームの強化と繋がる部分ですが、2019年から強化部を新たに設置し、その体制が徐々に整ってきております。限られた予算の中で強豪相手と戦うにはまだまだ厳しい状況ですが、クラブの特徴を生かしたチームづくりから勝利を目指すということを大前提に強化し、ファン・サポーターに応援していただける魅力あるチームづくりを目指しています。

【質問】

過去に実際に行われた SNS 等の施策と、効果の検証結果、今後に向けての課題と、今シーズン実施される具体的な施策をご説明ください。

【回答】

Google アナリティクス上の数値ですが、2018年から3年経過し、「新規」のサイトへの訪問者は、2020年度は約10万人／年になっています。

2018年シーズン、集客の取り組みとして注力したのは「SNSを通じたサポーターとの接点づくり」です。この活動を通じて、サポーターにダイレクトにクラブの情報を通知できる体制の基礎ができました。

2019年シーズンには、ピックアップゲーム（ホームゲームのイベント等を充実させる試合）を設定し、2018年シーズンに取得した情報を活用して潜在顧客へのアプローチを行いました。取得したデータから、試合告知に関するランディングページの閲覧数とスタジアムへの来場数に高い相関関係があることが分かり、試合告知の SNS 配信において、注目されやすい情報提供を心がけました。

2020年シーズンは、コロナ禍のため、ライブ配信に取り組みました。今までのスタジアムへの集客とは方針が変わってしまいましたが、ファン・関係者の生の声として、「遠方にも試合の観戦ができていたので助かる。」「今までサッカーの試合をみたことがなかったけど、初めてつくばFCの試合を見た」等、新たなファン層に情報が届けられていることを実感しました。

今シーズンは、YouTube ライブ配信を継続します。コロナ禍で「映像で試合を見てもらう」ことの障壁は低くなったとは思いますが、実際に観客が会場で見たいと思ってもらうことは別だと思っています。

制限を加えることなくホームゲームが開催される日まで、SNSの活用は最重要と認識しており、より濃く、広くトップチーム活動とクラブが目指している事を届けていきます。

【質問】

CATV や YouTube、各種 SNS など様々なメディアの活用をさらに充実させることができないでしょうか。

【回答】

SNS 発信の質・量とも、課題意識はあります。特に配信を担当する人的資源が足りていないことが原因であると認識しています。動画配信については、地域のスポーツ配信や関東リーグ等のサッカーの試合配信に力を入れていた業者に映像配信（録画配信）を依頼してきた経緯があります。

SNS 発信については、他の業務と兼務にはなりますが、担当者を増やしました。担当者には外部の研修会等への参加を促し、知識を高め、実際に社内で運用できるように社員教育を進めています。

動画配信については、繰り返しになりますが、2020 年シーズンからは YouTube でのライブを始め、今年も男女ともにライブ配信を実施します。今シーズンは、トップチームの選手の素顔によりフォーカスした企画を考えています。

SNS・動画配信のどちらも、効果的かどうかはまだ検証中ですが、ただ配信して満足することなく、その振り返りを業務の一貫として位置付けて取り組んでおります。仮説に基づき、配信を行い、検証を繰り返ししているところです。

【質問】

都道府県リーグでも元 J リーガーが活躍する中で、男子トップチームの戦力補強について方針を教えてください。

【回答】

過去を振り返れば、ジョイフル本田つくば FC において元 J リーガーの所属はありました。現在においても元 J リーガーを採用しない方針でもありません。元 J リーガーへのアプローチが皆無というわけではありませんので、クラブと本人の希望条件が合えば、実現の可能性もあります。

現在はまだ選手から一定程度の会費をいただいている状況です。そうしたチームが置かれた立場を考えると、若く力のある選手を発掘するのがチーム強化の柱にはなってきます。

【質問】

百年構想クラブへのロードマップについて、申請の予定はあるのか、それに向けてどう活動し体制強化していくのか、具体的に教えてください。

【回答】

百年構想クラブへの申請はJリーグに入るための手段だと考えています。現時点では適切なホームスタジアムがないこと、強化費の不足、百年構想クラブに毎年の費用がかかることを考慮して申請を行っていません。スタジアムの準備を進め、強化費の捻出のためにパートナー企業様との関係性を充実させていくことを重視し、関係各所と話し合いを進めています。諸々の条件が整い次第、申請を行う予定です。

【質問】

水戸ホーリーホックとの提携について、主に男女トップチームの強化や選手・指導者交流(水戸からのレンタル受け入れの可能性など)、水戸のホームゲームでのプロモーション、事業連携など、今後の具体的な見通しを教えてください。

【回答】

強化・運営両面で水戸ホーリーホック様と話し合いながら進めていきます。内容としては、関係のある選手の情報共有、エリートリーグへの参戦、ホームゲーム運営、施設管理等になります。今後のさらなるアクションについては、具体的に決まり次第リリースいたします。

【質問】

女子トップチームのなでしこリーグ2部参入について、強化への影響、今後数年間の活動の見通し、なでしこリーグ1部やWEリーグを見据えたビジョンなど、ご説明ください。

【回答】

まずは、なでしこ1部参入にむけたチーム作りをしています。WEリーグの開幕を控え、上位リーグ参戦チームに加入できない選手が、2部に集まってきています。

サッカーだけに限ったことではないですが、地元出身の選手は地元のファンから愛されます。地元で育成していくという根本的な解決も本クラブでは大切にしていますので、現時点でトップチームに所属する育成チームの出身選手が1名のみになっている状況を変えたいと思っています。それには、中学生から高校生に上がる選手数の増加が鍵となります。

1部への昇格には、スタジアムの問題が生じます。チーム強化と並行してクラブとしてその問題解決に取り組んでいます。

【質問】

トップチームの成績向上のための施策について、男女ともここ6年間カテゴリーの昇格がありません。これまでの実績についてどう考えているか、今後どうしていくのか、お聞かせください。

【回答】

ファン・サポーターの皆様と上位リーグ昇格を目指して努力して参ります。クラブとしては財政面での課題が大きいことを強く認識しています。

営業部は、近年、年間最低500万円以上、できれば1000万円以上の増額を目標にしています。強化部は、関係者とのネットワークを密にし、選手獲得を目指しながら、クラブの育成チームの選手に注視しています。

【質問】

スタジアムでの応援の他に、サポーター、ファンにできることはありますか。

【回答】

SNSでの情報の拡散とYouTubeのチャンネルの登録をぜひお願いいたします。

集客活動が難しい状況がありますので、特に今年は、YouTubeの登録者数を「1500人」にするという目標を立てています。

お願いばかりになりますが、つくばFCの関連グッズをご購入いただくとありがたいです。

【質問】

ひたちなか市で試合をやることについて、つくば週辺のファンが見に行けない状況をどう考えていますか。

【回答】

本当に申し訳ないと思っています。セキショウチャレンジスタジアムの改修工事の延期で人工芝の公認が取れない状況が続いています。来春には改修工事が完了する予定ですが、上記で説明しました通り、根本的な解決とはなっておりませんので、引き続きスタジアム問題については、取り組んで参ります。

【質問】

ひたちなか市へのバスツアーの検討については実施されるのでしょうか。

【回答】

バス車内でのコロナウィルス感染リスクを考慮し、現時点では考えていません。状況が変われば再度検討します。

以上となります。

長時間に渡り意見交換会ご参加いただき誠にありがとうございます。「素晴らしいシーズンだった」と言っていただけるよう取り組んで参ります。今シーズンも、どうぞ宜しくお願いいたします。
